

研究者は私の身代わりとして研究をしてくれる存在

大隅基礎科学創成財団のセミナーを聴講させて頂く機会があり、その際に大学研究室に赴任したばかりの若者がビデオにて紹介され、社会のために役立ちたいという彼の熱い思いと意欲に心を打たれました。ところが青雲の志を抱きつつも資金不足により研究器材等が足りず、その志に水が差される切実な状況のようでした。彼は自らの能力を社会に役立てたいと熱望し燃えている、その炎を消したくはない。彼の学んできた知識経験、未知ながらもその能力が発揮されなければ社会の損失です。彼は、私にできない研究や開発をしてくれる私の身代わりとも言える存在。その彼に少しでも役立ちたい。

私にも社会に出た際、少しは世に貢献できることに喜びを感じた思い出があります。彼も同じ気持ちであることは容易に想像出来ました。そこで私は彼を支援する大隅財団に僅かながらも寄付することにしました。科学立国は日本が生きて行くために避けて通れない道筋です。私の小さな一粒の種が、彼を通じて少しでも役に立ってくれば嬉しい限りです。

実のところ寄付は私にとって葛藤でした。世の中には貧困、環境、医療、政治、宗教、学校等々寄付をする先は沢山あり、私はいわば無計画に限られた懐勘定の中から少額の寄付をして参りました。

しかしこのセミナー参加を機会に、私にとっての寄付とは、私には到底出来ないことを代わりにやって頂いている新進の科学者の方々に少しでもお役に立ちたいとの気持ちの表明であることを再認識した次第です。

寄付も、選択と集中が大切との思いに至り私の気持もすっきりした次第です。

大隅基礎科学創成財団の益々のご発展を祈っています。

2022年11月28日

A&Aコンサルティング

代表 新井昭彦